



## アダマンド並木精密宝石

« 革新と発展のチャンスを得て »

### FACTS

会社名  
アダマンド並木  
精密宝石株式会社

グループ従業員数  
1,500

設立  
1939

業種  
精密機器

東京に本社を置くアダマンド並木精密宝石は、1939年に設立されました。特殊素材と、コア技術である「切る・削る・磨く」の融合により、通信・半導体分野の精密部品と医療用製品を供給。長年に渡る技術の追求と研究開発によって、常に世界をリードし続けています。

アダマンド並木が精密機器メーカーとして礎を築くことができたのは、スイスから製造機器を輸入したことや、最初の国内工場である秋田工場にスイス流ワークライフバランスを導入して多くの熟練技術者を引きつけることができたからで、スイスとは設立当初から深い関係があったのです。

2009年、アダマンド並木はさらなる発展のための環境構築とナノテクノロジーなどの分野での研究開発パートナー探しのため、ヴォー州ローザンヌに拠点を設けました。スイスは欧州市場に容易にアクセスできるなど、ビジネスにおける多くの利点があります。さらに、並木は、スイス連邦工科大学ローザンヌ校 (EPFL) キャンパス内にある Innovation Park に、必要に応じて柔軟に拡張できるオフィススペースを確保する機会に恵まれました。



## スイス事業概要

会社名  
Namiki Precision  
of Europe SA

従業員数  
3

所在地  
ヴォー州  
ローザンヌ

設立  
2009

機能  
欧州本社

EPFL Innovation Park は、科学研究開発を立ち上げるための支援機関で、世界レベルでの共同研究や欧州のエンドユーザーと密接な関係を築くことを可能にしてくれました。テクノロジー・インキュベータ・モデルは、物理的・法的に新会社設立を容易にし、研究開発やサプライヤーのネットワークへの参入を行うこともできたのです。

アダマンド並木はその後、スイス連邦工科大学ローザンヌ校と共同開発を締結。これにより、さらなる研究開発に邁進することができます。また主力製品である、宝石部品、マイクロモータ、光通信部品等の、医療理化学・光半導体・自動車産業分野への市場拡大に大いに役立つこととなります。

日本スイス自由貿易・経済連携協定により、低関税率や投資、人の移動などの合意が行われ、スイスにはさらに魅力が増しました。研究開発に力を注ぐアダマンド並木にとって、共同開発契約は、大いなる価値を見出せるものになっています。ローザンヌでの研究開発の新しいアプローチを取り入れ応用し、またエンドユーザーとの緊密な関係を通して行う高付加価値製品やアプリケーションの開発は、日本での新技術や製品開発への取り組みをも広げています。そして、それは更なる世界的発展へと導くでしょう。